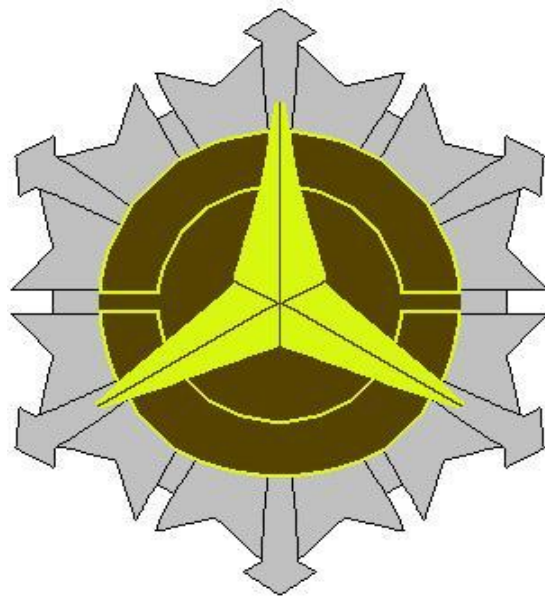


令和2年

消 防 年 報



立山町消防本部

目 次

立山町の概要	1
消防吏員徽章	2
立山町の消防分布図及び消防機械配置図	3
管内人口動態	4
立山町消防組織図	5
消防施設の現況	6
消防職員の定数・実員及び配置状況	7
消防機械配置状況	8
消防車両一覧表	9
消防水利の現況	10
年別通報受信状況	11
防火対象物状況	12
危険物施設数	13
火災予防条例による届出状況	13
危険物製造所等倍数別・類別状況	14
危険物製造所等の申請処理数	15
火災概況	16
令和2年火災発生状況総括表	16
月別火災発生状況	17
過去10年間の地区別件数	17
過去10年間の火災発生状況	18
過去10年間の火災発生件数と損害額	18
救急概況	19
事故種別出動件数・搬送人員状況	19
月別・事故種別救急活動状況	20
時間別・事故種別救急活動状況	21
曜日別・事故種別救急活動状況	22
現場到着所要時間・地区別出動件数	23
年齢区分別・傷病程度別搬送人員	24
居住地別・事故種別搬送人員	24
収容医療機関別搬送人員	25
過去10年間の救急状況	25
救急隊が行なった救命処置の状況	26
立山黒部アルペンルート救急状況	27
北陸自動車道救急状況	28
富山県ドクターヘリ要請状況	29
富山市と立山町との消防相互応援協定	30
救助・捜索概況	31

立山町民憲章

霊峰立山に抱かれ、常願寺川の清流に育まれるわたくしたち立山町民はこの誇りあるふるさとを愛し、力を合わせて、良い町づくりに努めます。

1. 郷土を愛し 自然を守り 住みよい町づくりに努めます。
2. きまりを守り あいさつをかわし 明るい地域づくりに努めます。
3. 仕事に励み 奉仕の心で 豊かな社会づくりに努めます。
4. 健やかで 笑顔で語らい 楽しい家づくりに努めます。
5. 教養を高め 科学を重んじ 文化の町づくりに努めます。

は し が き

- この年報は、当消防本部における令和2年中の消防業務全般の状況を収録したものであり、今後の消防行政、施策の参考にするとともに、広く一般に紹介し、消防に対する理解を深めていただくことを目的として編集しました。
- この年報については、表の上部等にそれぞれ記載した期日をもって作成してあります。

令和3年4月

立山町消防本部

立山町の概要

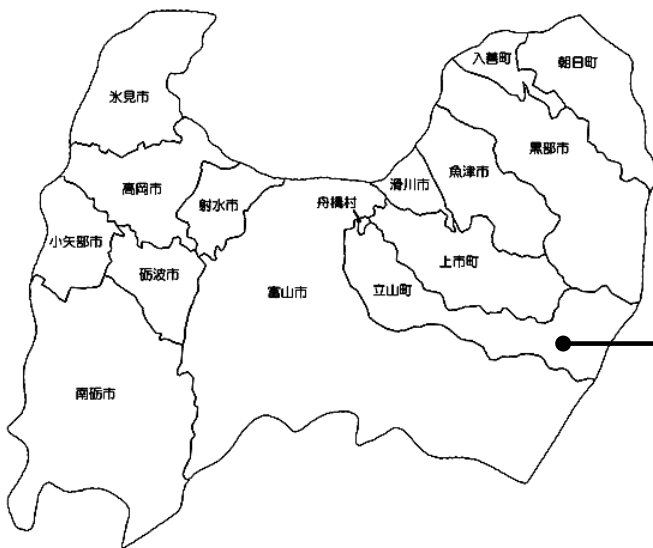
昭和29年1月10日、雄山町を中心に5ヶ村（利田、上段、東谷、釜ヶ淵、立山）が合併し霊峰立山の名にちなんで立山町と命名して発足し、同年7月10日、新川村の編入合併を経て今日にいたっている。

本町は、県都富山市から南東よりに位置し、北西部は、一級河川・常願寺川の扇状地であり水豊かな穀倉地帯である。これが、南東部へおよぶごとに標高が高まり特用林産物の生産地帯へと移行し、奥地は南北に連なる北アルプス立山連峰を形成している。

気候は、変化に富み、雨や雪が多く、湿度が高い。年間平均気温が14度前後で風向きは、温暖期で南・南西、寒冷期で北東の季節風が多い。

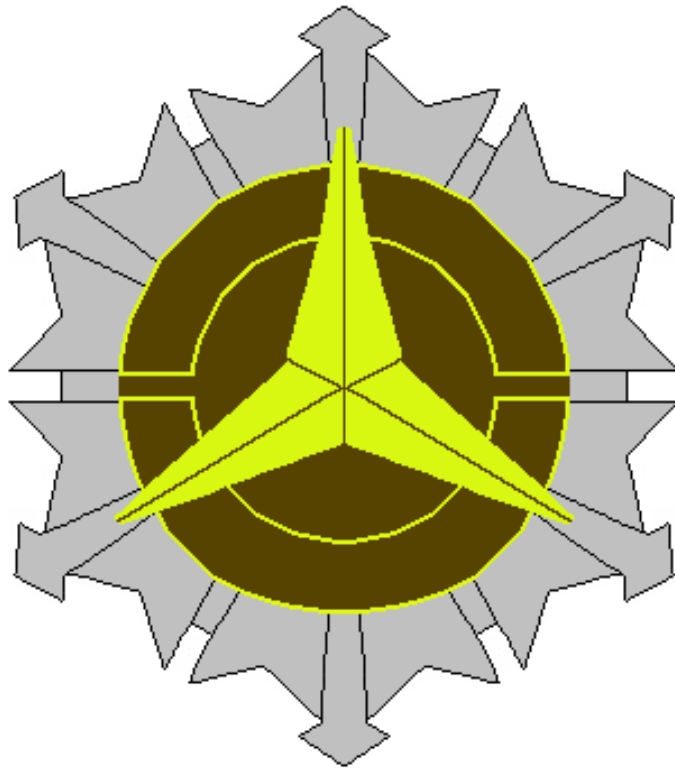
反面、四季の移り変わりが鮮やかなのが特色である。

「人・自然・絆を大切にし、守りながら、みんなが輝く共生のまちづくりに努めます。」を基本理念とし、「健やかなまち『健康・快適』たてやま、活力のまち『田園・交流』たてやま、学びのまち『教育・文化』たてやま」を将来像に掲げ、この実現に向けて積極的な施策展開を図っている。



- ・位置 東経 137° 17' ~ 137° 45'
北緯 36° 31' ~ 36° 42'
- ・面積 総面積 308.79 km²
- ・人口 25,497人
(男 12,298人・女 13,199人)
- ・世帯数 9,518世帯

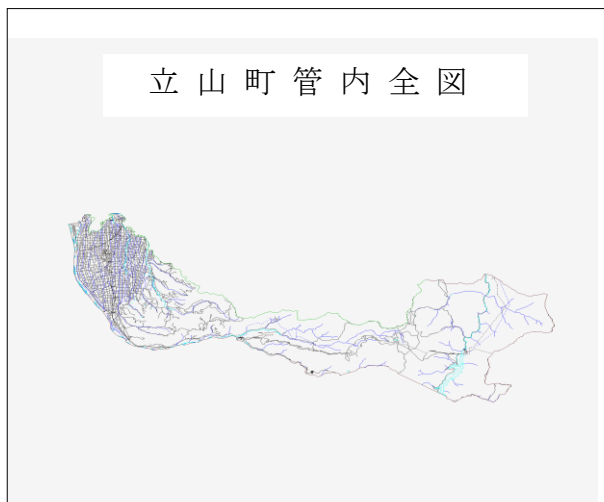
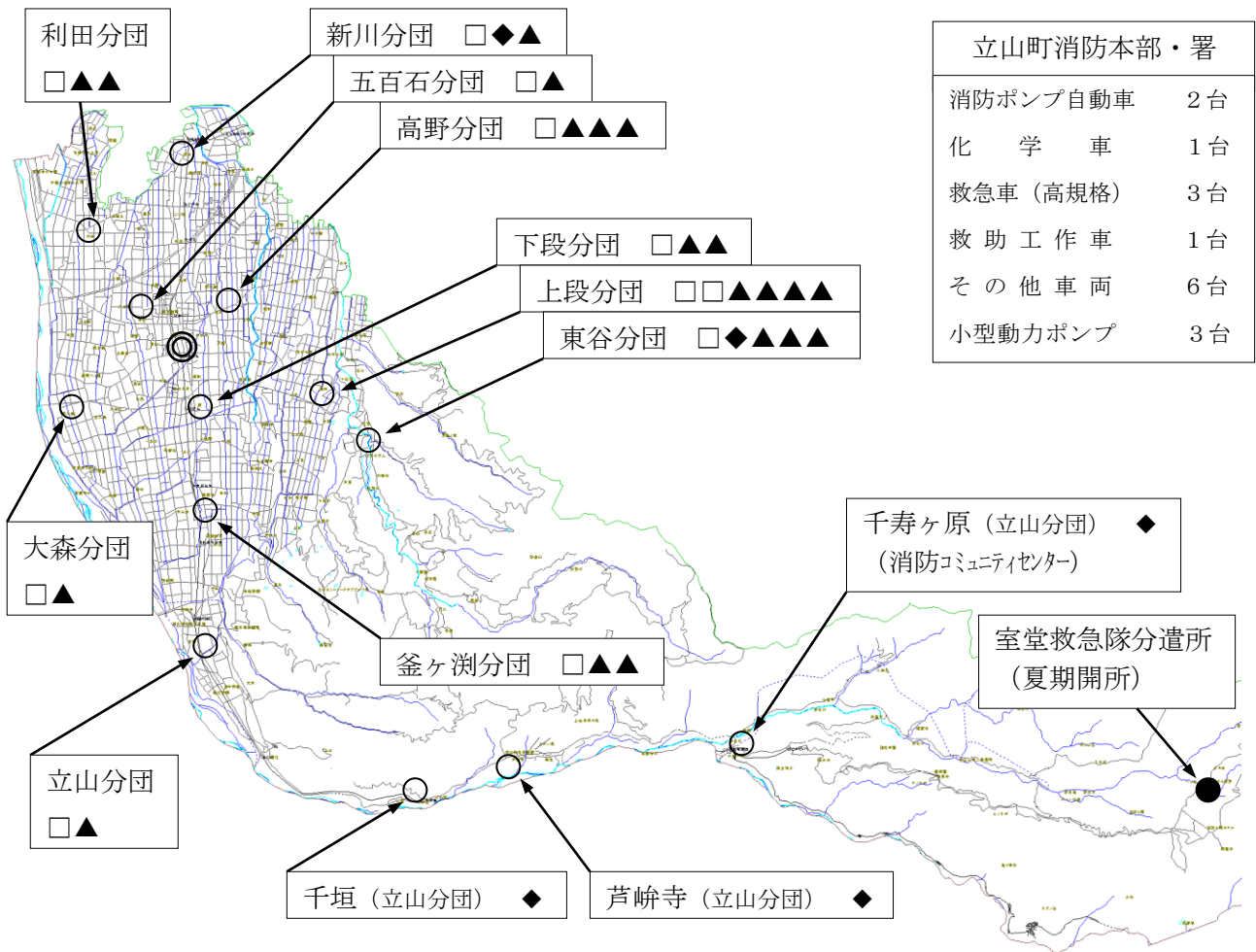
(令和2年12月31日現在)



消防吏員徽章

消防マークの中央に町章「立山」の文字を図案化したもので、外輪の丸は行政区域内の融和を意味し、立山の峰を表現する三角錘の合流点を頂点として三つの三角錘は野に山に町に力強く発展する町勢の姿を象徴している。

立山町の消防分布図及び消防機械配置図



記号の解説	
◎	消防本部・署
●	分遣所
○	分団詰所・団員詰所
□	消防ポンプ自動車
◆	小型動力ポンプ付積載車
▲	小型動力ポンプ

◇管内人口動態

(令和2年12月31日現在)

区分 地区別	人 口			世 帯 数
	男	女	計	
五百石	2,588	2,818	5,406	2,046
高野	1,226	1,411	2,637	1,046
上段	698	768	1,466	578
東谷	198	223	421	185
立山	988	1,107	2,095	842
釜ヶ淵	805	901	1,706	649
下段	1,433	1,440	2,873	1,033
大森	1,271	1,341	2,612	879
利田	1,576	1,589	3,165	1,099
新川	1,515	1,601	3,116	1,161
合計	12,298	13,199	25,497	9,518

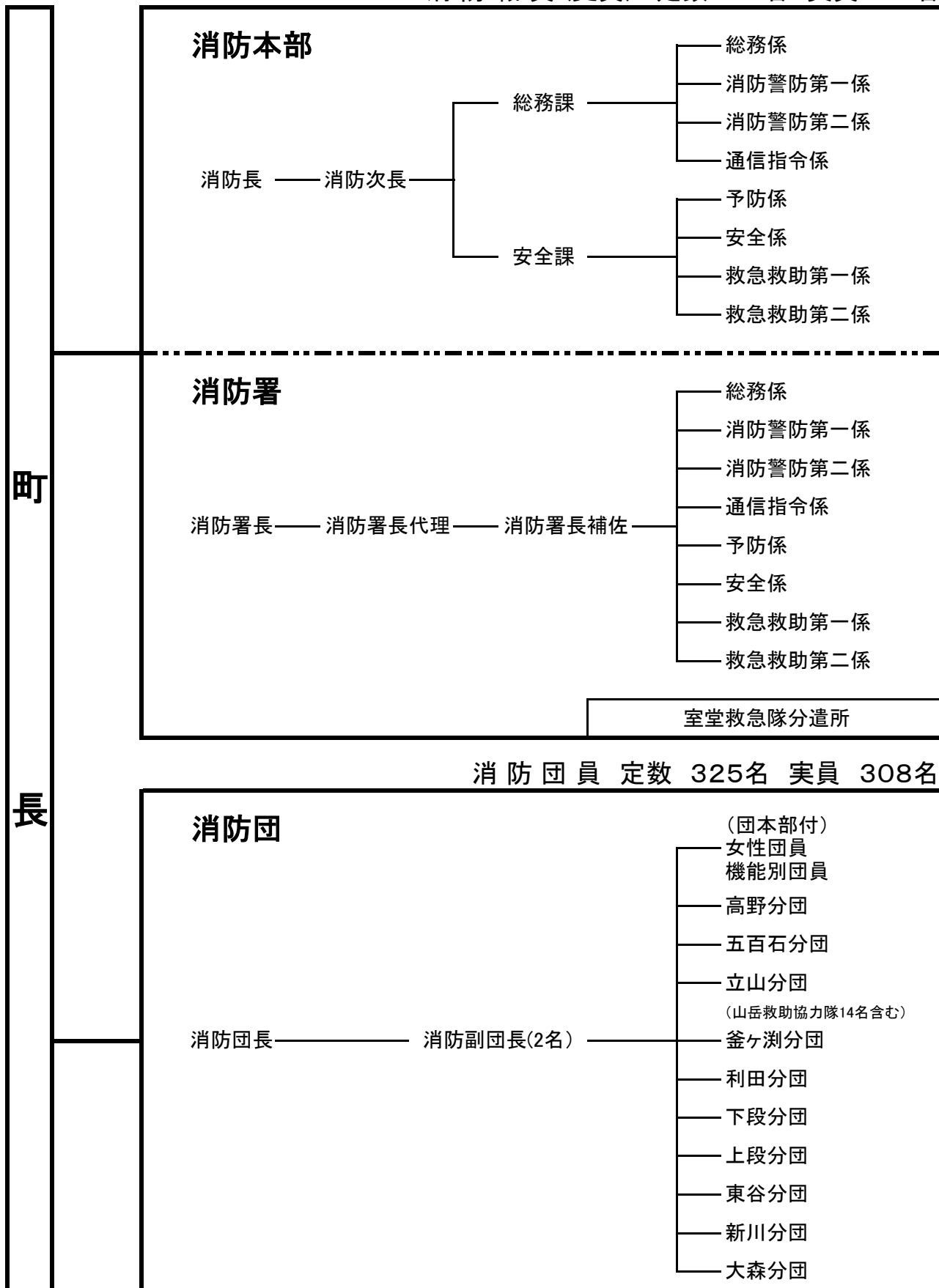
※ 参考(各年度国勢調査による)

年度別	男	女	計	世帯数
昭和30年	14,749	14,847	29,596	5,575
昭和40年	13,720	14,166	27,886	5,861
昭和50年	13,178	14,048	27,226	6,446
昭和60年	13,509	14,432	27,941	6,846
平成7年	13,132	14,312	27,444	7,762
平成12年	13,446	14,548	27,994	8,427
平成17年	13,422	14,589	28,011	8,830
平成22年	13,200	14,266	27,466	8,992
平成27年	12,663	13,654	26,317	9,159

立山町消防組織図

(令和3年4月1日現在)

消防職員(吏員) 定数 32名 実員 34名



◇消防施設の現況

(令和3年4月1日現在)

施設名	所在地	電話番号	敷地面積 (㎡)	建築延面積 (㎡)	構造	竣工年月日	建築費 (千円)	備考	
立山町消防本部 (立山町消防署)	米沢36	463-0005 FAX 463-1610	4,722.39	922.25	鉄筋コンクリート造2階建	S.48.6.7	消防庁舎(総工費)	50,156	
					鉄骨造折版葺	S.56.9.30	車庫(増築)	11,950	
						S.61.3.28	通信指令室(増築)	3,130	
						H.12.10.27	消防庁舎耐震補強工事	13,230	
						H.26.3.24	通信指令室(増築)	31,433	
					H.26.3.24	緊急避難所機能整備工事	26,072		
訓練塔	米沢36	—	47.44	主塔168.00 副塔 31.20	鉄骨造5階建 17M 鉄骨造平屋建 7M	H.4.11.27	33,887		
室堂救急隊分遣所	芦峠寺ブナ坂	463-5519	室堂 立山センター内に季節開所(例年7月~10月)						
上段分団詰所	福田622	463-0424	644.73	152.37	木造平屋建鋼板葺	R.3.3.12	総工事費	64,905	
釜ヶ淵分団詰所	道源寺849	463-2894	599.91	145.75	木造平屋建鋼板葺	H.31.3.8	総工事費	54,649	
利田分団詰所	利田1081-2	463-3229	507.00	146.33	木造平屋建鋼板葺	H.29.3.15	総工事費	46,856	
大森分団詰所	東大森420番2	463-2464	856.19	145.75	木造平屋建鋼板葺	H.28.10.31	総工事費	49,934	
高野分団詰所	江崎9番1	462-2170	497.04	144.19	木造平屋建鋼板葺	H.28.8.31	総工事費	49,088	
五百石分団詰所	草野95番1	463-5811	231.68	153.05	木造平屋建鋼板葺	H.23.11.30	総工事費	25,049	
東谷分団詰所	白岩12	463-2440	542.30	153.90 車庫36.0(別棟)	補強コンクリートブロック造平屋建 鉄骨造平屋建折版葺	H.14.9.30	総工事費	19,267	全面改築 車庫新築
新川分団詰所	浦田408-4	464-1054	807.77	107.81	鉄骨造平屋建折版葺	S.61.11.20	総工事費	14,580	
下段分団詰所	榎43	463-3251	1,537.18 (公民館と共同)	80.58	鉄筋コンクリート造平屋建 (公民館併設)	S.59.12.20	総工事費	9,999	
立山分団詰所	宮路10-2	483-0300	510.00	143.52	鉄骨造平屋建折版葺	S.56.11.9	総工事費	21,298	
立山分団芦峠詰所	芦峠寺10-1	—	138.40 (借地)	98.85	鉄骨造一部2階建カー 鉄板瓦葺	H.4.12.3	総工事費	16,304	
立山分団千垣詰所	千垣311-1	—	78.61 (借地)	78.30	鉄骨造2階建折版葺	H.8.11.6	総工事費	12,051	
千寿ヶ原コミュニティー 消防センター	芦峠寺ブナ坂50-3	482-1010	291.10	165.17	鉄筋コンクリート造平屋建	H.6.11.25	総工事費	30,174	

◇消防職員の定数・実員及び配置状況

	定 数	実 員
消防職員	32	34

消防職員1名に対する面積 9.08 km²
 " 人口 749 人
 " 世帯数 279 世帯

(令和3年4月1日現在)

所 属		階 級	消 防	消 防	消 防	消 防	消 防	消 防 士	計
		司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長			
消 防 本 部 ・ 署	消 防 長	1							1
	消 防 次 長 ・ 総 務 課 長 (消 防 署 長)		1						1
	安 全 課 長 (消 防 署 長 代 理)		1						1
	総 務 係		1	1	1			2	5
	消 防 警 防 第 一 係		1			1		1	3
	消 防 警 防 第 二 係		1	1	1				3
	通 信 指 令 係		1			1		1	3
	予 防 係		1	1	1			3	6
	安 全 係		1			2			3
	救 急 救 助 第 一 係		1			1		1	3
	救 急 救 助 第 二 係		1	1	1	1		1	4
計		1	10	4	9		9	33	
富山県防災航空センター(派遣)					1				1

※消防長及び富山県防災航空センター派遣の2名は、条例定数外扱い。

◇消防機械配置状況

(令和3年4月1日現在)

車種別		ポンプ車		救急車及びその他の車						
		普通消防ポンプ自動車	化学消防ポンプ自動車 (災害対応)	救急車(高規格)	救助工作車(Ⅱ型)	指令車	現場指揮車	広報車	小型動力ポンプ付積載車	資機材搬送車
所属別										
常備	消防署	2	1	3	1	1	1	2	1	1
小計		2	1	3	1	1	1	2	1	1
非常備	上段分団	2								
	東谷分団	1							1	
	利田分団	1								
	下段分団	1								
	大森分団	1								
	新川分団	1							1	
	高野分団	1								
	五百石分団	1								
	立山分団	1							2	
	釜ヶ淵分団	1								
小計		11							4	
合計		13	1	3	1	1	1	2	5	1

◇消防車両一覧表

(令和3年4月1日現在)

項目 車 両	車 両 メ ー カ	登 録 年 月 日	艀装、種別、級別等	配置場所
ポ ン プ 車	日 野	H 25. 12. 9	モリタ A-2 600ℓ水槽	消 防 本 部 (消 防 署)
ポ ン プ 車	日 野	R 3. 2. 12	モリタ A-2 900ℓ水槽 MVF	
化 学 車	三 菱 ふ そ う	H 15. 12. 3	モリタ A-2 1700ℓ水槽	
救 助 工 作 車	日 野	H 10. 3. 5	モリタ II 型	
救 急 車	ト ヨ タ	H 25. 11. 20	トヨタ 高規格	
救 急 車	ト ヨ タ	H 24. 2. 17	トヨタ 高規格	
救 急 車	ト ヨ タ	R 1. 11. 19	トヨタ 高規格	
指 令 車	日 産	H 25. 11. 14		
広 報 車	日 産	H 23. 12. 16		
広 報 車	日 産	H 28. 12. 1		
現 場 指 揮 車	ト ヨ タ	H 13. 12. 19		
資 機 材 搬 送 車	日 野	H 29. 1. 31		
千 寿 ヶ 原 積 載 車	ダ イ ハ ツ	H 13. 12. 17	千寿ヶ原地区に貸与	本部管理
五 百 石 分 団 車	日 野	R 1. 10. 16	モリタ A-2	五 百 石
立 山 分 団 車	い す ゞ	H 30. 11. 12	モリタ A-2	立 山
下 段 分 団 車	日 野	H 28. 11. 18	モリタ A-2	下 段
高 野 分 団 車	い す ゞ	H 27. 9. 28	モリタ A-2	高 野
大 森 分 団 車	日 野	H 26. 9. 12	モリタ A-2	大 森
東 谷 分 団 車	日 野	H 25. 10. 21	モリタ A-2	東 谷
釜 ヶ 淵 分 団 車	い す ゞ	H 24. 11. 19	モリタ A-2	釜 ヶ 淵
上 段 分 団 車	い す ゞ	H 23. 11. 21	モリタ A-2	上 段
利 田 分 団 車	日 野	H 23. 2. 10	モリタ A-2	利 田
新 川 分 団 車	日 野	H 22. 2. 12	モリタ A-2	新 川
新 瀬 戸 ポ ン プ 車	い す ゞ	R 2. 2. 3	モリタ 救助資器材搭載型 国無償貸与車両	上 段 新 瀬 戸
目 桑 積 載 車	ス ズ キ	H 26. 11. 19		目 桑
女 川 新 積 載 車	ダ イ ハ ツ	H 15. 12. 17		女 川 新
千 垣 積 載 車	三 菱	H 14. 12. 25		千 垣
芦 峯 積 載 車	い す ゞ	H 22. 7. 22		芦 峯

◇消防水利の現況

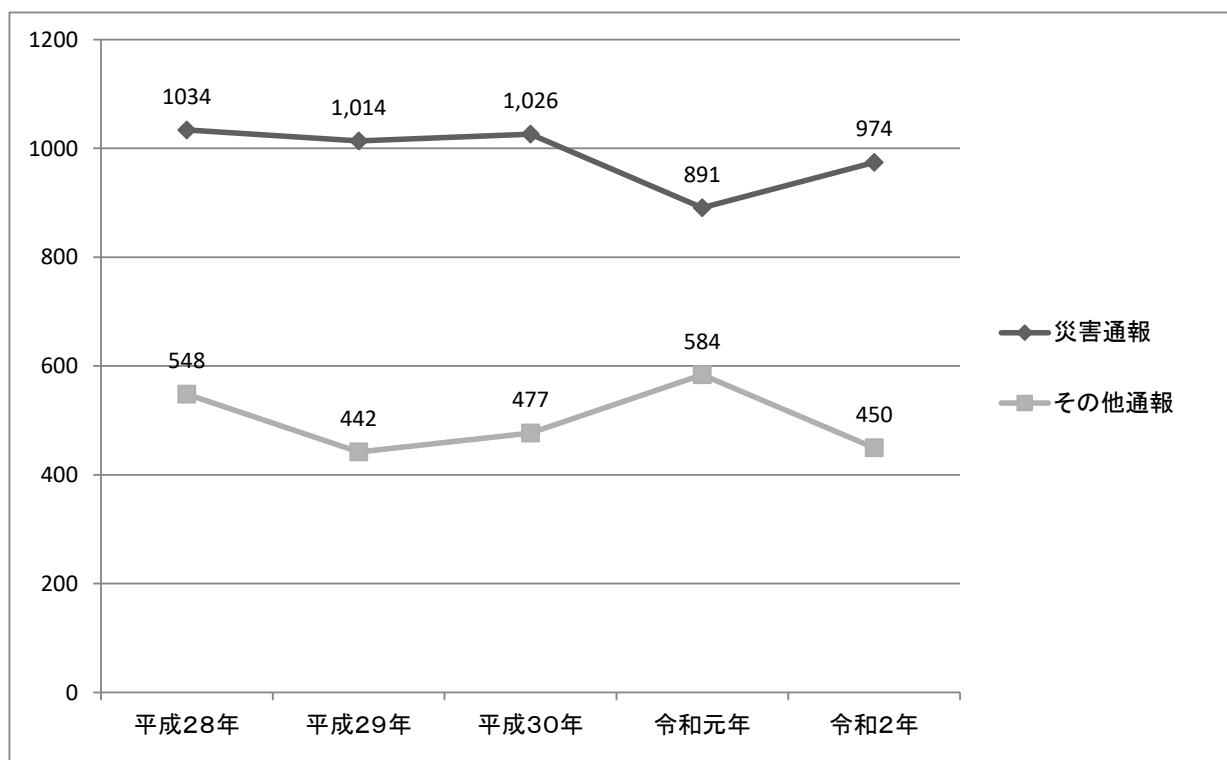
(令和3年4月1日現在)

現 有 消 防 水 利									
種別 地区	消 火 栓			防 火 水 槽				プ ル	計
	公 設		私 設	公 設		私 設			
	地 上 式	地 下 式		有蓋	無蓋	有蓋	無蓋		
上 段	2	43		7		2		1	55
東 谷	1	25		7	8				41
利 田		59	1	2		3		1	66
下 段		71		5					76
大 森		56		8					64
新 川		82	5	5	1			1	94
高 野		62		3		1		1	67
五 百 石		107	1	8				1	117
立 山	39	88		6	4	1			138
釜 ヶ 淵	1	28		3				1	33
計	43	621	7	54	13	7		6	751
				67		7			

◇年別通報受信状況

		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	計
災害通報	火災通報	7	21	9	4	8	49
	救急救助通報	1,015	991	1,014	885	965	4,870
	その他災害通報	12	2	3	2	1	20
災害通報小計		1,034	1,014	1,026	891	974	4,939
その他の通報	訓練	138	149	158	164	183	792
	試験	286	180	204	303	175	1,148
	いたづら	3	1	9	6	2	21
	間違い	49	41	32	43	43	208
	問合わせ	72	71	74	68	47	332
その他の通報小計		548	442	477	584	450	2,501
統 計		1,582	1,456	1,503	1,475	1,424	7,440

※「その他災害通報」は、火災・救急救助以外の災害通報となります。



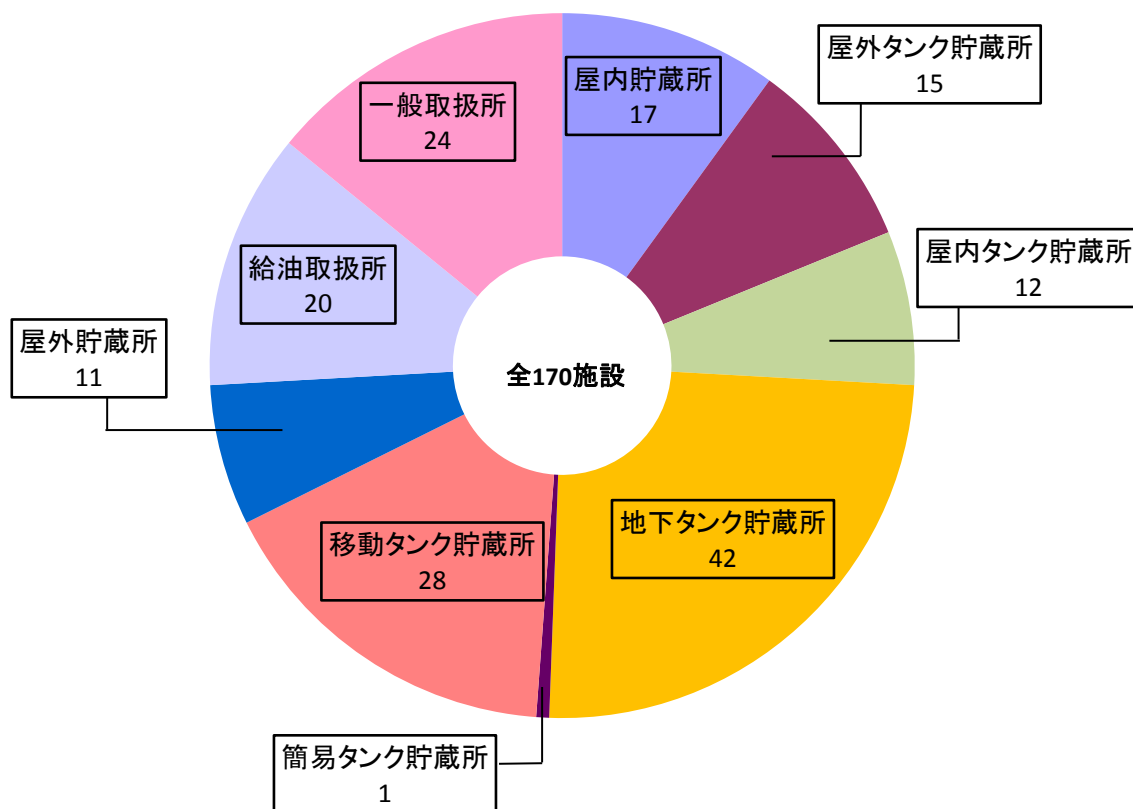
◇防火対象物状況

(令和2年12月31日現在)

用途別		消防用設備等 必要対象物	防火管理者 必要対象物
(1)	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	
	ロ	公会堂又は集会場	15
(2)	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ等	1
	ロ	遊技場又はダンスホール	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等	
	ニ	カラオケボックス等	
(3)	イ	待合、料理店等	1
	ロ	飲食店	41
(4)		百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗又は展示場	33
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所等	45
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	40
(6)	イ	病院、診療所、助産所	9
	ロ	特別養護老人ホーム、救護施設、老人短期入所施設 乳児院、障害児入所施設、介護老人保健施設等 障害者支援施設等	18
	ハ	老人デイサービスセンター、更生施設、軽費老人ホーム 老人福祉センター、保育所、児童養護施設等、身体障害者福祉 センター	23
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	
(7)		小学校、中学校、高等学校、大学、高等専門学校等	17
(8)		図書館、博物館、美術館等	6
(9)	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場	1
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	
(10)		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場	5
(11)		神社、寺院、教会等	9
(12)	イ	工場又は作業場	190
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ	
(13)	イ	自動車車庫又は駐車場	14
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	
(14)		倉庫	100
(15)		前各項に該当しない事業場	114
(16)	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	16
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	8
(16の2)		地下街	
(16の3)		地階で連続して設けられた地下道に面して設けられたものと 地下道とを合わせた物	
(17)		重要文化財、重要美術品建造物等	5
(18)		延長≥50mのアーケード	
(19)		市町村長が指定する山林	
(20)		総務省令(規5-10)で定める舟車	
計			711
			185

◇危険物施設数

令和2年12月31日現在



◇火災予防条例による届出状況

種別 年	発電設備設置届	変電設備設置届	蓄電設備設置届	ボイラー設備設置届	乾燥設備設置届	給湯湯沸設備設置届	炉・厨房設備設置届	温風暖房機設置届	少量危険物貯蔵取扱届	指定可燃物貯蔵取扱届
令和2年	2	9	2	5	1	0	0	0	4	1
令和元年	1	3	8	0	0	1	1	2	5	0
平成30年	2	5	3	2	0	0	1	0	4	0
平成29年	2	11	3	3	1	0	0	0	7	0
平成28年	0	6	0	3	0	2	0	2	4	0

◇危険物製造所等倍数別・類別状況

(令和2年12月31日現在)

製造所等の別		貯 蔵 所							取 扱 所				合 計	
		屋 内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋 外	小 計	給 油	販 売	一 般		小 計
倍 数 別	5倍以下	8	5	3	27	1	26	6	76	3		10	13	89
	5倍を超え 10倍 以下	4	2	6	7				19	1		10	11	30
	10倍を超え 50倍 以下	4	4	3	7		1	5	24	5		4	9	33
	50倍を超え 100倍 以下	1	4		1		1		7	4			4	11
	100倍を超え 150倍 以下									4			4	4
	150倍を超え 200倍 以下													
	200倍を超え 1000倍 以下									3			3	3
	1000倍を超え るもの													
	合 計	17	15	12	42	1	28	11	126	20		24	44	170
類 別	第 1 類													
	第 2 類													
	第 3 類													
	第 4 類	16	15	12	42	1	26	11	123	20		24	44	167
	第 5 類													
	第 6 類						2		2					2
	混 在	1							1					1
	合 計	17	15	12	42	1	28	11	126	20		24	44	170

◇危険物製造所等の申請処理数

(令和2年中) (単位:件)

製造所等の別 区分		貯 蔵 所						取 扱 所			合 計	前 年	
		屋 内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋 外	給 油	販 売			一 般
許 可	設 置								1			1	1
	変 更						1					1	2
完 成 検 査	設 置											0	1
	変 更						1		1			2	2
完 成 検 査 前 検 査	水 張										6	6	3
	水 圧											0	0
承 認 申 請	仮 使 用											0	1
	仮 貯 蔵	1										1	1
	仮 取 扱	2										2	1
廃 止 届					3		3					6	4

火 災 概 況

令和2年における火災発生件数は6件で、前年に比べ5件増加となりました。
 火災種別は、建物火災が2件、車両火災が4件であり、損害額合計は1,715千円で、前年に比べ4,017千円の減少となっています。焼損面積は0.49㎡、焼損表面積は0.36㎡となっています。火災による負傷者は0名、死者は1名でした。

◇令和2年火災発生状況総括表

件 数		1	2	3	4	5	6
区 分							
火 災 種 別		建物	車両	建物	車両	車両	車両
出 火 月 日		1月11日(土)	4月28日(火)	5月8日(金)	5月21日(木)	10月7日(水)	11月24日(火)
出 火 時 刻 (推 定)		不明	14時00分	13時00分	14時50分	20時00分	16時00分
天 候		曇	晴	晴	曇	曇	晴
湿 度(%)		77.3	34.5	46.1	67.6	80.9	61.2
風 向		西北西	西北西	北	北東	東南東	南南東
風 速(m/s)		4.7	3.8	2.5	1.6	2.4	0.9
気 温(℃)		9.1	15.6	17.9	17.3	16.7	11.1
出 火 地 区		利田	新川	高野	新川	立山	利田
出 火 原 因 (推定含む)		放火	不明	たばこ火の 不始末	溶接火花の 着火	漏れたガソリン に引火	車内で使用した 七輪の加熱
焼損面積(㎡)		0.36(表)	—	0.49	—	—	—
焼 損 棟 数	全 焼						
	半 焼						
	部 分 焼						
	ぼ や	1		1			
	計	1		1			
罹 災 世 帯 数	全 損						
	半 損						
	小 損	1		1			
罹 災 人 員		4					
死 傷 者	死 者						1
	負 傷 者						
損 害 額 (千 円)	建 物						
	収 容 物			23			
	そ の 他	11	281			1,300	100
	計	11	281	23	0	1,300	100
住宅用火災警報器 設置状況		有		無			

(表)・・表面積

◇月別火災発生状況

内 訳 月 別	出 火 件 数					焼 損 棟 数					焼損面積 (㎡)	損害額 (千円)
	計	建 物	林 野	車 両	そ の 他	計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や		
1	1	1				1				1	0.36(表)	11
2												
3												
4	1			1							—	281
5	2	1		1		1				1	0.49	23
6												
7												
8												
9												
10	1			1							—	1,300
11	1			1							—	100
12												
合 計	6	2		4		2				2	0.36(表) 0.49	1,715

(表)・・・表面積

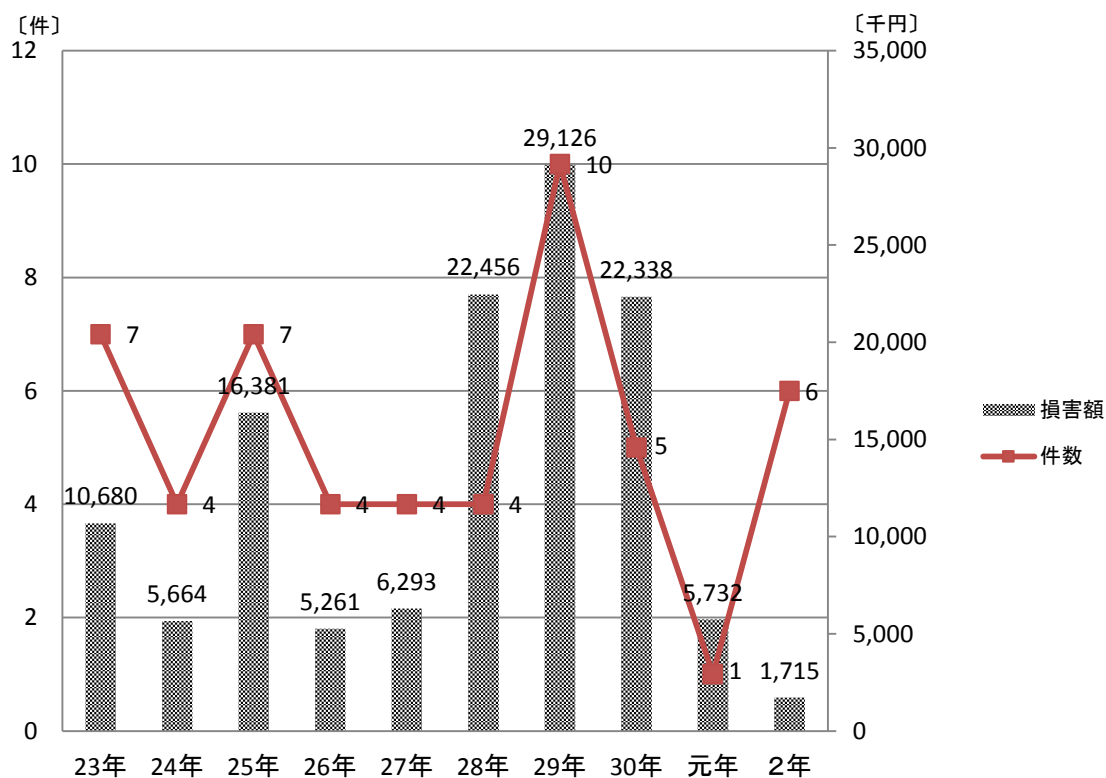
◇過去10年間の地区別件数

年 地 区	平成 23	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和 元	令和 2	合 計
五百石	1		3	1	1			1			7
高 野			3					1		1	5
上 段		1		1		1					3
東 谷											
立 山	1	2				2	4	1	1	1	12
釜ヶ淵			1	1			3				5
下 段	1						1	1			3
大 森	2	1			1	1					5
利 田	1			1			2	1		2	7
新 川	1				2					2	5
合 計	7	4	7	4	4	4	10	5	1	6	52

◇過去10年間の火災発生状況

区分 年	件数	焼 損 面 積				損 害 額(千円)
		建 物(m ²)	表面積	林野・その他	車両	
平成 23	7	284	19		1台	10,680
平成 24	4	64	16		1台	5,664
平成 25	7	899	2			16,381
平成 26	4	159			5台	5,261
平成 27	4	264		1基	2台	6,293
平成 28	4	801		41a		22,456
平成 29	10	334	38		3台	29,126
平成 30	5	780	4			22,338
令和 元	1	214	2			5,732
令和 2	6	0.49	0.36		4台	1,715
平均	5.2					

◇過去10年間の火災発生件数と損害額



救 急 概 況

令和2年中の救急出動件数(立山黒部アルペンルート、北陸自動車道を含む)は、1,030件で前年の1,039件に対し9件減少し、搬送人員は、959人(男498人、女461人)で前年の938人に比べ21人の増加となりました。

出動事故種別では、急病事故が705件(68.5%)であり、次いで一般負傷事故168件(16.3%)、転院搬送60件(5.8%)、交通事故52件(5.0%)、その他の事故種別が45件(4.4%)となりました。

立山黒部アルペンルートの出動件数は、20件で前年の96件に対し76件の減少となりました。

北陸自動車道の出動件数は、2件で前年の1件に対し1件の増加となりました。

○事故種別出動件数・搬送人員状況

単位： 上段：件
下段：人

事故種別 区分	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				計
											転 院	医 師	資 機 材	そ の 他	
出 動 件 数	1		5	52	14	2	168	4	11	705	60	1		7	1,030
搬 送 人 員			3	52	14	2	157	4	4	662	60			1	959

○月別・事故種別救急活動状況

単位： 上段：件
下段：人

月別	事故種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
												転院	医師	資機材	その他	
1	出動件数			1	6	1		17			54	4				83
	搬送人員				7	1		16			47	4				75
2	出動件数				6	2		11		2	43	6				70
	搬送人員				6	2		10		1	41	6				66
3	出動件数				4	1	1	14	1		61	8			1	91
	搬送人員				4	1	1	13	1		60	8				88
4	出動件数				1			9			61	5				76
	搬送人員				1			7			60	5				73
5	出動件数			1	4	2		16	1		59	3				86
	搬送人員			1	3	2		16	1		58	3				84
6	出動件数				5	1		8	1	1	65	6				87
	搬送人員				4	1		8	1		57	6				77
7	出動件数			2	2			11		1	48	6			1	71
	搬送人員			1	2			11		1	46	6			1	68
8	出動件数			1	5	1	1	16	1	1	69	4				99
	搬送人員			1	4	1	1	16	1		67	4				95
9	出動件数				5	1		17		1	57	8	1		2	92
	搬送人員				5	1		14		1	51	8				80
10	出動件数				10	3		20		3	74	2			1	113
	搬送人員				12	3		18			67	2				102
11	出動件数	1			3	1		12		1	56	3			2	79
	搬送人員				4	1		11		1	54	3				74
12	出動件数				1	1		17		1	58	5				83
	搬送人員					1		17			54	5				77
計	出動件数	1		5	52	14	2	168	4	11	705	60	1		7	1,030
	搬送人員			3	52	14	2	157	4	4	662	60			1	959

○時間別・事故種別救急活動状況

単位：上段：件
下段：人

時間別	事故種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
												転院	医師	資機材	その他	
0～2	出動件数				1			5	1		38					45
	搬送人員				1			4	1		35					41
2～4	出動件数				1			7		1	22					31
	搬送人員				1			7			22					30
4～6	出動件数				3			7		1	27				1	39
	搬送人員				2			7			27				1	37
6～8	出動件数			1	4			12	1		59	1				78
	搬送人員				2			11	1		57	1				72
8～10	出動件数				8	3		25			78	12				126
	搬送人員				8	3		25			75	12				123
10～12	出動件数				6	5	2	23			83	20			1	140
	搬送人員				6	5	2	20			75	20				128
12～14	出動件数			1	11	2		24		1	95	13			1	148
	搬送人員			1	13	2		23			90	13				142
14～16	出動件数			1	5	1		16		1	63	6				93
	搬送人員			1	4	1		14		1	59	6				86
16～18	出動件数	1			4	2		15		5	74	3	1		3	108
	搬送人員				4	2		15		2	66	3				92
18～20	出動件数			2	5			18	1		75	4				105
	搬送人員			1	6			18	1		71	4				101
20～22	出動件数				2			11		2	50				1	66
	搬送人員				3			9		1	46					59
22～24	出動件数				2	1		5	1		41	1				51
	搬送人員				2	1		4	1		39	1				48
計	出動件数	1		5	52	14	2	168	4	11	705	60	1		7	1,030
	搬送人員			3	52	14	2	157	4	4	662	60			1	959

○曜日別・事故種別救急活動状況

単位：上段：件
下段：人

事故種別 曜日別		火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				計
												転 院	医 師	資 機 材	そ の 他	
月	出動件数				7	4		32			109	10			1	163
	搬送人員				7	4		29			104	10				154
火	出動件数	1			7	1		18		3	95	13				138
	搬送人員				6	1		16		1	91	13				128
水	出動件数				11	3		32	1	1	104	12			1	165
	搬送人員				11	3		30	1		97	12				154
木	出動件数				5	4		24	1	2	96	2			2	136
	搬送人員				5	4		21	1		90	2			1	124
金	出動件数				3	2	1	17		1	98	8			1	131
	搬送人員				3	2	1	16		1	94	8				125
土	出動件数			3	7		1	18		2	109	14	1		1	156
	搬送人員			2	7		1	18		1	97	14				140
日	出動件数			2	12			27	2	2	94	1			1	141
	搬送人員			1	13			27	2	1	89	1				134
計	出動件数	1		5	52	14	2	168	4	11	705	60	1		7	1,030
	搬送人員			3	52	14	2	157	4	4	662	60			1	959

○現場到着所要時間・地区別出動件数

単位：件

地区 所要時間	高野	五百石	下段	大森	新川	釜ヶ淵	上段	利田	東谷	立山	管外	計
3分未満	66	60	11			1	1	1		4		144
3分以上 5分未満	45	131	60	3	16	1	13	1		4	1	275
5分以上 10分未満	26	45	22	59	95	52	49	85	17	62	2	514
10分以上 20分未満		1		1	2	1	3	9	5	57	1	80
20分以上										17		17
計	137	237	93	63	113	55	66	96	22	144	4	1,030
最短時間	0分 7秒	1分 24秒	1分 19秒	3分 28秒	3分 13秒	1分 06秒	2分 57秒	2分 36秒	5分 37秒	0分 13秒	4分 45秒	
最長時間	8分 47秒	12分 06秒	9分 39秒	10分 19秒	10分 08秒	12分 17秒	14分 02秒	14分 27秒	19分 45秒	71分 18秒	10分 22秒	
平均時間	3分 14秒	4分 41秒	4分 21秒	6分 25秒	6分 30秒	7分 2秒	6分 30秒	7分 46秒	9分 4秒	13分 17秒	7分 23秒	

※「現場到着所要時間」119番通報覚知から救急隊現場到着までの時間

現場到着前に途中引揚げとなった場合は、引揚げ時間を現場到着時間とする。

※立山地区の所要時間・件数は、立山黒部アルペンルートへの出動及び室堂救急隊分遣所からの出動を含む。

○年齢区分別・傷病程度別搬送人員

単位：人

事故種別 区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
新生児												
乳幼児				3			3			19		25
少年				5		2	4			11	2	24
成人			1	32	14		22	3	4	133	9	218
高齢者			2	12			128	1		499	50	692
計			3	52	14	2	157	4	4	662	61	959
死亡			1	1						13		15
重症			2				5		2	55	6	70
中等症				10	6		86	1		331	50	484
軽症				41	8	2	66	3	2	262	5	389
その他										1		1
計			3	52	14	2	157	4	4	662	61	959

新生児…生後28日未満の者
 乳幼児…生後28日以上満7歳未満の者
 少年…満7歳以上満18歳未満の者
 成人…満18歳以上満65歳未満の者
 高齢者…満65歳以上の者

死亡…初診時において、死亡が確認されたもの
 重症…傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
 中等症…傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの
 軽症…傷病の程度が入院を必要としないもの
 その他…医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したも
 (消防防災ヘリでの搬送含む)

○居住地別・事故種別搬送人員

単位：人

事故種別 区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
管内			2	28	5	1	133	4	3	603	56	835
管外			1	24	9	1	24		1	59	5	124
その他												
計			3	52	14	2	157	4	4	662	61	959

*管内…立山町に住所を有する者
 *管外…管内以外の国内に住所を有している者
 *その他…外国人旅行者及び住所不明者等

○収容医療機関別搬送人員

単位：人

医療機関別 事故種別		急病		交通		一般負傷		その他		計		
		うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	
救急告示医療機関	国立	12	12	3	3	4	4	5	5	24	24	
	公立	407	407	32	32	79	77	56	55	574	571	
	公的	193	193	14	14	56	56	25	25	288	288	
	私 的	病院	42	18	1		17	9	2	2	62	29
		診療所										
	小計	654	630	50	49	156	146	88	87	948	912	
その他の医療機関	国立											
	公立	1								1		
	公的	4	4	2	2	1	1			7	7	
	私 的	病院										
		診療所	1	1							1	
	その他	2	1							2	1	
小計	8	6	2	2	1	1			11	8		
合計	国立	12	12	3	3	4	4	5	5	24	24	
	公立	408	407	32	32	79	77	56	55	575	571	
	公的	197	197	16	16	57	57	25	25	295	295	
	私 的	病院	42	18	1		17	9	2	2	62	29
		診療所	1	1							1	1
	その他	2	1							2	1	
合計	662	636	52	51	157	147	88	87	959	921		

○過去10年間の救急状況

単位：上段：件
下段：人

区分	年										
	平成 23	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和 元	令和 2	
出動件数	1,110	1,136	1,098	1,024	1,089	1,162	1,129	1,177	1,039	1,030	
搬送人員	1,035	1,043	1,007	948	979	1,076	1,050	1,092	938	959	

※平成25年までは、舟橋村救急委託出動の件数(人員)を含む。

救急隊が行なった救命処置の状況

○救急隊員が行なった心肺停止傷病者に対する救命処置の状況

単位：件

処置項目	事故種別	急病	一般負傷	交通事故	その他	計
心肺蘇生法		23	1	1	3	28
気道確保		36	1	1	3	41
※うちラリゲアルチューブ等		1				1
※うち気管挿管		19			1	20
除細動		6			1	7
※静脈路確保(輸液)		36	2	1	3	42
※うち薬剤投与		15			1	16

※救急救命士による特定行為。

○心肺停止前の重度傷病者に対する2処置(静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与)の状況

単位：件

処置項目	事故種別	急病	一般負傷	交通	自損行為	転院搬送	その他	計
※静脈路確保(輸液)		15	1	1	1	1		19
※血糖測定		144	6	1		2	1	154
※うちブドウ糖投与		8						8

※平成27年7月1日から、認定救急救命士が上記の処置実施可能。

○過去5年間における心肺停止傷病者の生存率

	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	合計
救急出動件数(件)	1,162	1,129	1,177	1,039	1,030	5,537
心肺停止傷病者搬送人員(人)	26	34	35	17	39	151
うち、1ヶ月後生存者数(人)	1	0	1	3	2	7
1ヶ月後生存率	3.8%	0.0%	2.9%	17.6%	5.1%	4.6%
うち、社会復帰者数(人)	0	0	0	3	2	5
社会復帰率	0.0%	0.0%	0.0%	17.6%	5.1%	3.3%
市民が目撃した心肺停止症例(人)	1	3	2	2	12	20
うち、1ヶ月後生存者数(人)	1	0	0	2	1	4
1ヶ月後生存率	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	8.3%	20.0%
うち、社会復帰者数(人)	0	0	0	2	1	3
社会復帰率	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	8.3%	15.0%

※住民が目撃した心肺停止症例については、心原性(心臓に何らかの異常が生じたもの)に限る。

立山黒部アルペンルート救急状況

昭和46年7月から立山黒部アルペンルート救急業務開始。

出動件数 20件（前年 96件）

搬送人員 13人（前年 59人）

○事故種別出動件数・搬送人員

単位：件、人

種別	件数	搬送人員	性別		傷病程度別				
			男	女	死亡	重症	中等症	軽症	その他
急病	10	7	6	1	1	2		3	1
一般負傷	9	6	2	4			3	3	
転院搬送									
交通事故									
医師搬送	1								
労働災害									
計	20	13	8	5	1	2	3	6	1

○月別・事故種別搬送人員

単位：人

月	急病		一般負傷		転院搬送		医師搬送		交通事故		労働災害		計		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
4月															
5月															
6月															
7月	2												2		2
8月	2												2		2
9月	1	1		3									1	4	5
10月	1		2	1									3	1	4
11月															
計	6	1	2	4									8	5	13

※立山黒部アルペンルート開通期間は、毎年4月中旬から11月末まで。

○居住地別搬送人員

単位：人

種別	男	女	計
管内			
管外	8	5	13
計	8	5	13

○過去10年間の救急状況

単位： 上段：件
下段：人

区分	年									
	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2
出動件数	62	71	51	53	89	86	87	78	96	20
搬送人員	41	46	35	38	53	62	60	50	59	13

北陸自動車道救急状況

昭和55年12月11日に日本道路公団と「救急業務に関する委託契約」を締結。
 平成17年10月1日、日本道路公団民営化。
 北陸自動車道は、中日本高速道路株式会社が経営引継ぎ。
 立山町管轄 上り(金沢方面) 立山IC～流杉SIC、下り(新潟方面) 立山IC～滑川IC

出動件数 2件 (前年 1件)

搬送人員 2人 (前年 0人)

○過去10年間の救急状況

単位： 上段：件
下段：人

区分 \ 年	平成 23	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和 元	令和 2
出 動 件 数	4	3	4	3	3	1	5	0	1	2
搬 送 人 員	3	3	5	2	3	3	2	0	0	2

富山県ドクターヘリ要請状況

平成27年8月24日から運行開始。基地病院である富山県立中央病院の屋上ヘリポートに待機し重篤な傷病者に対し早期に医師や看護師が処置を行い、救命率向上を図ることを目的に富山県ドクターヘリが導入されました。

要 請 件 数 38件（前年 44件）

搬 送 人 員 10人（前年 28人）

○事故種別出動件数・搬送人員

単位：件、人

種別	区分	件 数	搬送人員	性 別		傷 病 程 度 別				
				男	女	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他
交 通		4	2		2			2		
一般負傷		3	3	2	1			3		
急 病		26	4	4				4		
上記以外		5	1	1			1			
計		38	10	7	3		1	9		

○月別・事故種別搬送人員

単位：人

月	区分	急 病		交 通		一般負傷		そ の 他		計		合 計
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
1月		1										1
2月							1					1
3月						1						1
4月		2										2
5月												
6月												
7月												
8月					1			1				2
9月					1							1
10月						1						1
11月		1										1
12月												
計		4			2	2	1	1		7	3	10

○居住地別搬送人員

単位：人

種別	区分	性 別		計
		男	女	
管 内		5	2	7
管 外		2	1	3
計		7	3	10

○ランデブーポイント数

（令和2年12月31日現在）

富山県全体	611箇所
うち立山町	35箇所

※「ランデブーポイント」
傷病者を乗せた救急車とドクターヘリが合流するため、事前に設定した場所。

富山市と立山町との消防相互応援協定

平成23年7月28日に締結。

出動依頼件数 1件（前年 0件）

搬送人員 1人（前年 0人）

○事故種別出動件数・搬送人員

単位：件、人

種別	区分	件数	搬送人員	性別		傷病程度別				
				男	女	死亡	重症	中等症	軽症	その他
急病		1	1		1			1		
計		1	1		1			1		

※「富山市と立山町との消防相互応援協定」とは、横江(立山地区)、千垣、芦峯寺、千寿ヶ原の地区で緊急性及び特殊性の高い救急事案について立山町の要請に基づき富山市(小見救急隊)が救急応援出動するものです。

※立山黒部アルペンルートでの事故は協定の対象外となります。

○過去5年間の救急状況

単位：上段：件

下段：人

区分	年	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2
出動件数		1	4	6	0	1
搬送人員		1	2	5	0	1

令和2年

No	事故種別	内容	搬送隊	備考
1	急病	胸苦	小見救急隊	ドクターヘリ搬送

令和元年 なし

平成30年

No	事故種別	内容	搬送隊	備考
1	急病	腹痛	立山救急隊	
2	急病	心肺停止	小見救急隊	
3	急病	心肺停止		不搬送
4	急病	意識消失	小見救急隊	
5	急病	脳卒中疑い	小見救急隊	ドクターヘリ搬送
6	急病	胸苦	小見救急隊	ドクターヘリ搬送

平成29年

No	事故種別	内容	搬送隊	備考
1	一般負傷	心肺停止	小見救急隊	
2	急病	意識消失	立山救急隊	
3	交通	頭部外傷	小見救急隊	ドクターヘリ搬送
4	一般負傷	蜂刺症	立山救急隊	

平成28年

No	事故種別	内容	搬送隊	備考
1	急病	意識消失	小見救急隊	

救 助 ・ 捜 索 概 況

令和2年中の救助・捜索出動件数は14件で、前年の17件に比べ3件の減少となりました。
捜索については2件です。

○令和2年救助・捜索出動及び活動状況

単位：件、人

区 分		月												計	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
救 助	件 数		1	1		3		2		1	4				12
捜 索	件 数			1				1							2
救 助 ・ 捜 索	人 員		1	1				2		1	4				9
事 故 種 別 出 動 件 数	火 災	建 物													
		建 物 以 外													
	交 通 事 故					1		1		1	2				5
	水 難 事 故					1		1							2
	風 水 害 等 自 然 災 害														
	機 械 に よ る 事 故														
	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故														
	爆 発 事 故														
	建 物 等 に よ る 事 故														
	そ の 他 の 事 故		1	1		1					2				5
	捜 索			1					1						2
合 計			1	2		3		3		1	4			14	

○過去3年間の救助・捜索出動及び活動状況

単位：件、人

区 分		平成30年	令和元年	令和2年
救 助	件 数	8	16	12
捜 索	件 数	3	1	2
救 助 ・ 捜 索	人 員	11	8	9

○富山県消防防災ヘリコプター要請状況

単位：件、人

区 分	年	令和2年
救 助 要 請 件 数		1
救 急 要 請 件 数		1
救 助 人 員		1

※富山県には、富山県消防防災ヘリコプター「とやま」の他に富山県ドクターヘリや富山県警察航空機「つるぎ」があり事故内容に応じて連携し、活動することがあります。

消 防 年 報

令和3年4月発行

立 山 町 消 防 本 部

〒930-326

富山県中新川郡立山町米沢36

TEL (076) 463-0005

FAX (076) 463-1610

Email syoubou@town.tateyama.lg.jp